

# Principal Correspondence

## リーダーの任命について



新年度、リリーベールではたくさんのリーダーの任命式が行われます。具体的には中高学年の正副学級長（選挙）、ハウスリーダー（自薦推薦）、バスリーダー（学校任命）などです。他にもクラブのキャプテン（選挙）や委員会委員長（選挙）、児童会長（全校立会い演説後選挙）が選出されます。

### 日本の小学校はリーダー制度に消極的？

児童が学校でリーダーとしての立ち居振る舞いを実際に見たり聞いたり、モデルとして学ぶ機会が少なくなりました。よって力量が身に着きにくくなりました。その結果社会ではリーダーになりたがらない子が増え、リーダーは「ダサイ」「面倒」「やるだけ損」「自分だけよければ良い」という傾向にあります。私は高学年には、何がしかのリーダーを体験させたいと思っています。

### リーダー体験から得られる事

リーダーは「私利私欲」を持たず「使命感」を持ち何より「公正である事」が求められます。リーダーにはリーダーの悩みがあり、その葛藤が人格に深みを持たせてくれます。

悩み迷いくじけそうになりながらも任期を全うする頃には「おもいやりに感謝」し「規範意識の大切さ」「正義感・勇気の必要性」「グループとしての達成感」などなどを実感します。そしてリーダーを交代した後のフォロワーシップも育てています。

### リーダーはカッコよく

「使命感や公正性」を持つリーダーは、「恰好良い待遇」とセットでなければなりません。当校では他人のために考え働くリーダーは「偉い」「カッコ良い」と教えており、主たるリーダー職にはバッジをつけ、行事の折には正副級長やハウスリーダーにはエンブレム付のサッシュ（たすき）を着用させ、時折校長室で校長と給食をとる名誉？が与えられています。

### リーダーの芽吹きに遅い早いはない

卒業生で、小学校のときは目立ったリーダーにならなかった子が中学生、高校生になって素晴らしいリーダーに育った（例えば全国高校総合文化祭実行委員長など）例も多々あります。フォロワーとしての経験からリーダーをじっくり眺めて「人の気持ちがわかるリーダー」の素養が育っていたのだと思われます。いま積極性がないと憂慮する必要はありません。遅咲きだからといってあわてる必要もありません。子どもたちはしっかりと学んでいるからです。



# Principal Correspondence

## 今は習慣を身に付けていく時期です

### 小中学校のときに学校の勉強ができる人に共通する事項



- ① 身の回りの始末が上手。きちんと管理できる（この習慣と学力の相関は高い）。
- ② 自己学習の習慣が身についている・・・宿題をすぐやる。
- ③ 自然体験が豊富・・・キャンプの体験などが多い。
- ④ 体験型の上質の幼児教育を受けている（自由放任型や勉強型ではありません）。
- ⑤ 自分の感情を溜め込まず、上手に表現できる（読書量、言葉の能力とも関係します）。
- ⑥ 親や先生から誉めてもらえることが多く、達成感や自己肯定感が高い。

勉強はこれらの習慣の結果で、一流のアスリート、アーティストであっても皆こうした事をしっかりやってきたのです（野球選手の松井もイチローも、こつこつとやってきました）。

### ではその逆はどうでしょう？

- ① いつもだらしく忘れ物や失くし物が多い（学力の低さと相関が高い）。
- ② 宿題を先延ばしにして、結局忘れる。
- ③ 家でテレビゲームばかりしている。外出はショッピングモール。
- ④ 勉強の詰め込み型、指示まちの保育環境。
- ⑤ 言葉で自分の気持ちを表現できず黙って溜め込んでしまう。読書が嫌い。
- ⑥ 周りからいつもがみがみ、口うるさく叱られるだけ。自己肯定感が低い。



こういう子が、中学生や高校生の難しい思春期に突然挨拶ができ、自己管理に目覚め、自主的に勉強するようになるのでしょうか？

今が大事です。1年生から4年生までは特に重要です。ご家庭と学校が同じ方向を向いて、子どもたちの可能性を伸ばしていきましょう。

